

ウォーターランド南条の選手が活躍

男子無差別200mメドレーリレー

県新記録!!

1月29日(日)、おおい町のフィットネスセンターアクアマリンで、水泳の「うみりん杯 第26回おおい町競技大会」が開催され、県内外から130人が出場しました。男子無差別200mメドレーリレーでは、ウォーターランド南条のチーム(藤田拳輝選手、赤松奈生選手、谷口柁弥選手、井上輝星選手)が1分44秒83で県新記録、県高校新記録、大会新記録を更新しました。

＜4名の選手にインタビュー＞

①県記録更新の要因は？②水泳の楽しさとは？

藤田 拳輝 選手(種目：背泳ぎ)

①県内でもそれぞれの種目でトップの選手とチームが組めたことや、これまでの練習でコーチから聞いた問題点をいつも意識して取り組んでいることが良かったと思います。②自分の頑張りが結果に出るところです。

赤松 奈生 選手(種目：平泳ぎ)

①ただ練習するのではなく、「うみりん杯で県記録を更新する」という目標を持って取り組んだことで結果が出せたと思います。②0.01秒まで結果に出るところです。難しさでもありますが、分析や研究していくことが楽しいです。

谷口 柁弥 選手(種目：バタフライ)

①ただ練習するのではなく、振り返りを大切にしているコーチの指導が、活かされたと思います。②野球やサッカー等と違い、練習した成果がタイムに現れるところが面白いです。

井上 輝星 選手(種目：自由形(フロール))

①目標のために、日々の練習を限界までしていることが、今回の記録に繋がったと思います。②泳いでいて倒れそうなくらい辛い時もありですが、記録や自己ベストが出たときは達成感が味わえ、家族や友人から祝福されることが嬉しいですね。



(写真左から) 藤田選手、赤松選手、谷口選手、井上選手

田倉川の魅力をプレゼン

「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」福井県子ども会育成連合会長賞受賞



12月4日(日)、

福井県産業情報センターで開催された、地域の魅力を伝える「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」に、今庄小学校5年生の諸田真大さんが個人で出場しました。田倉川での川遊びや周辺スポーツの魅力を明るく堂々とプレゼンし、福井県子ども会育成連合会長賞を受賞しました。県内小学校5、6年生の19のチームや個人から応募があり、予選を通過した15のチームや個人が本大会に出場。審査は、プレゼンテーションと発表後の質疑応答をもとに行われました。

諸田さんに質問!

応募したきっかけは？

児童会の副会長に選ばれ、人前で話すことに慣れたいという思いで参加しました。

田倉川をプレゼンしようと思った理由は？

友達に誘われて田倉川に遊びに行ったときにとても楽しく、プレゼンをして多くの人に川の良さを知ってもらいたいと思ったからです。

受賞した感想は？

まさか受賞できると思わなかったので、びっくりしました。とても嬉しかったです。

受賞作品は、県ホームページから見ることができます。



おめでとうござりますます

福井県

教育委員会表彰

2月3日(金)福井県庁において、南越前中学校が福井県教育委員会表彰(学校保健表彰)を受けられました。

南越前中学校では、年2回、保健委員会による歯みがき強化期間「歯みがきグランプリ」を設け、給食後の歯みがきの呼びかけやクラス表彰を実施し、う歯予防活動を推進しています。また、「SOSの出し方」や「困難を乗り越えて立ち直る力(レジリエンス)」についての集会を行ったり、みんなで南越前中学校のいいところを考えて掲示する「ポジティブワード大作戦」を行ったりして、心の健康作りに取り組んでいることなどが認められ受賞となりました。



(写真) 今村憲和校長